

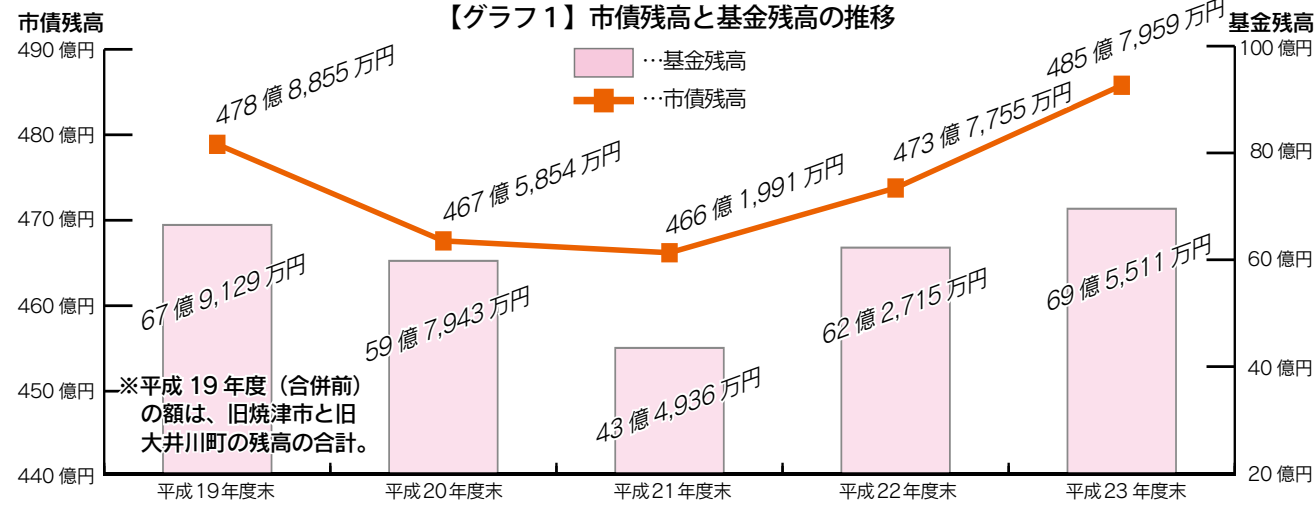
市債(長期借入金)と基金(預貯金)

一般会計の市債残高 485億7,959万円
対前年度比 12億204万円の増(2.5%)

市債は、市の借金のことで、主に道路や学校、公園などの施設を造る場合に財源の一部とします。市債には応急的な財源の確保と世代間の負担の公平を図る目的があります。

市民1人当たりの市債残高は340,262円です。県内23市のうち、多い方から14番目です。

基金は、市の預貯金のことで、各年度の財源を調整するための財政調整基金や将来の大きな支出に備えて積み立てる特定目的基金などがあります。市債と基金の残高はグラフ1のとおりです。

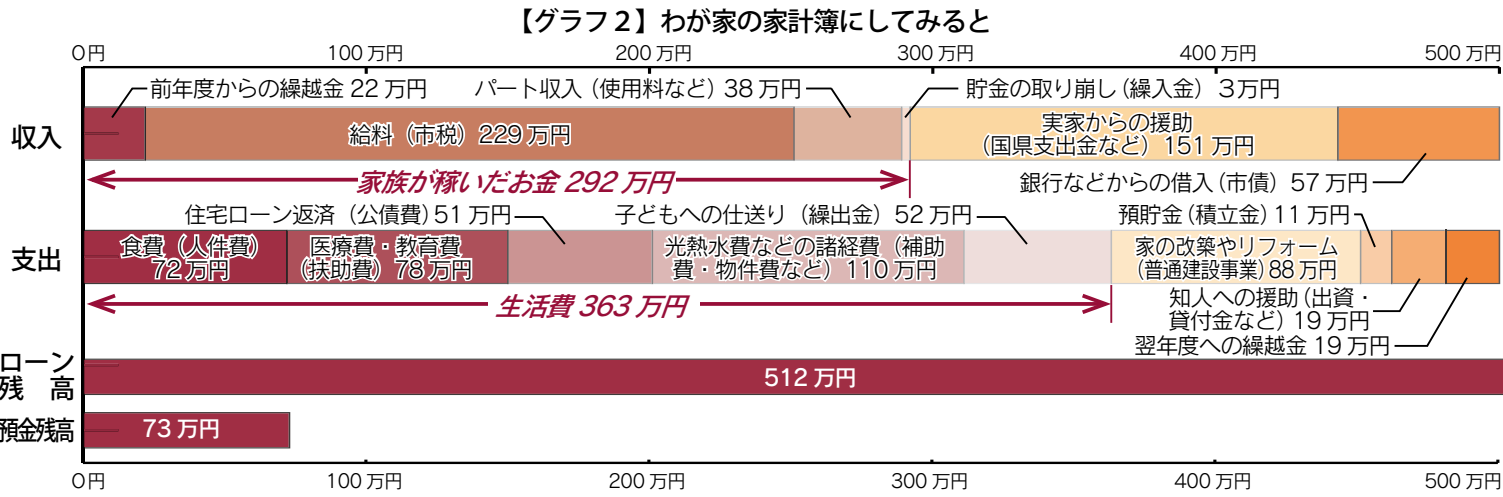


わが家の家計簿にしてみると

一般会計の決算状況を年収500万円の家計簿の費目に置き換えました

グラフ2のとおり、家族が稼いだお金(自主財源292万円)よりも生活費(経常的経費363万円)の方が多く、銀行などからの借入や実家からの援助(依存財源208万円)を受けながら生活している状況です。

食費や医療費、教育費、ローン返済など簡単には減らせない経費(義務的経費)が、201万円あります。



特別会計

特定の目的のためだけにお金を集めて使うので、一般会計と区分して経理する会計です。市には9つの特別会計があります。

【表】特別会計の決算額

会計	歳入	歳出	差引き	市債残高
し尿処理事業	3億8,396万円	3億6,386万円	2,010万円	0円
土地取得事業	6,361万円	6,357万円	4万円	0円
国民健康保険事業	144億3,007万円	137億3,765万円	6億9,242万円	1億4,560万円
公共下水道事業	24億5,681万円	24億2,906万円	2,775万円	167億6,553万円
温泉事業	6,165万円	6,065万円	100万円	0円
駐車場事業	1,717万円	1,624万円	93万円	0円
介護保険事業	87億2,118万円	85億9,350万円	1億2,768万円	0円
後期高齢者医療事業	11億8,569万円	11億5,258万円	3,311万円	0円
港湾事業	5億1,847万円	4億6,019万円	5,828万円	16億3,128万円

特別会計は、基本的に使用料や保険料などの収入を主な財源として運営していますが、公益性や事業収支の実情により、一般会計からの繰入金によって収支の均衡を図っています。



企業会計

民間企業と同様に事業を営む独立採算が原則の会計です。市には2つの企業会計があります。

【表】企業会計の決算額

会計	収益	費用	差引き(当年度純利益)	企業債残高
水道事業	23億2,698万円	22億3,373万円	9,325万円	57億3,694万円
病院事業	112億7,702万円	108億69万円	4億7,633万円	24億9,947万円

市営住宅入居者募集

市営住宅の空室について入居者を募集します。申込者全員による公開抽選を行い、入居者と待機者を決定します。

募集団地名・戸数 ・八幡団地(1戸・4階・一般世帯向け) ・中根新田団地(1戸・一般世帯向け)

申込資格 ・市内に居住または勤務している人 ・市税と国民健康保険税を滞納していない人 ・市内に確実な連帯保証人が2人いる人

申込方法 窓口にある申込書に必要書類を添えて、直接持参する(郵送不可)

申込期間 10月26日(金)までの午前8時30分(午後5時15分(土日を除く))

抽選日時 11月6日(火) 午後2時

抽選会場 焼津公民館会議室5・6

※開取や家賃など、詳しくは窓口で配布する「入居募集案内書」をご覧ください。

申込・問合せ 住宅営繕課(市役所アトレ庁舎2階) ☎626-2163

自主運行バスで地域再発見の旅参加者募集

自主運行バスを利用した「第6回地域再発見の旅」を開催します。この機会に地域を巡る健康的なウォーキングをお楽しみください。

対象 高低差のある山道約8キロの全行程を歩くことができる人

日時 11月16日(金) 午前8時45分～午後3時15分(荒天中止)

集合・解散場所 焼津駅南口1番のりば

内容 自主運行バスを利用して、林叟院から笛吹段公園を経由して日本坂PAまでを巡りながら高草山の歴史と自然を学ぶ

講師 落合孟郎さん(焼津市文化財保護審議会会長)

参加費 参加費50円(保険料。別途バス連賃2回分400円が必要です)

持ち物 弁当、水筒、帽子、雨具など ※歩きやすい服装でお越しください。

定員 20人(申込順)

申込方法 10月18日(木)の午前9時から電話で申し込む

申込・問合せ 歴史民俗資料館 ☎629-6847

平成23年度決算の概要をお知らせします

焼津市の財政事情

市の平成23年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算がまとまり、市議会9月定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします(表示単位未満は四捨五入)。
問合せ 財政課 ☎626-2142

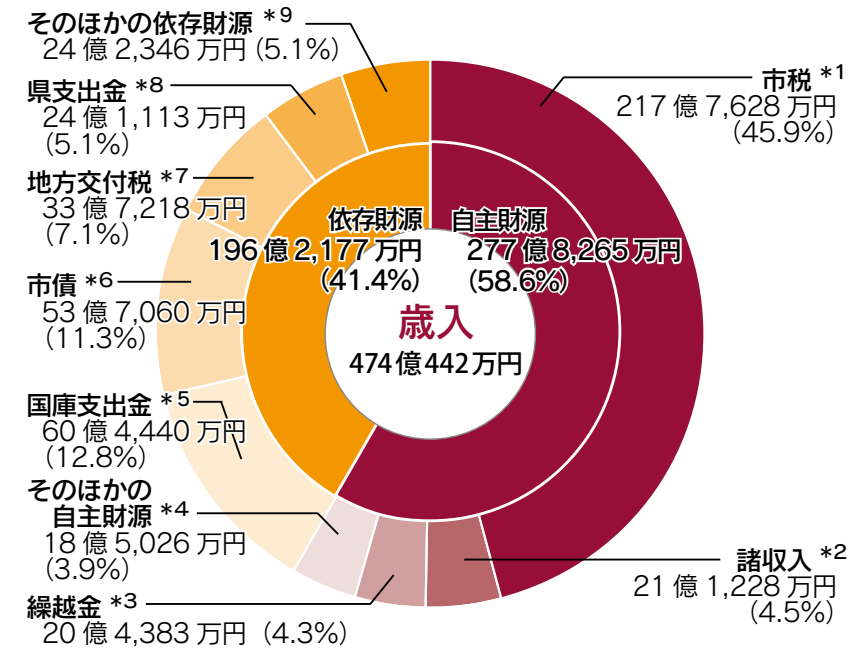
一般会計

市の基本となる会計です。「特別会計」と「企業会計」以外のすべての行政サービスや事業を扱う会計です。 ※3月31日現在の住民基本台帳の人口(142,771人)と世帯数(52,414世帯)で計算しました。

歳入

474億442万円 対前年度比1億2,500万円の増(0.26%)

社会福祉費などの増により、地方交付税が増額(対前年度比4億7,285万円増)しましたが、県支出金(7,113万円減)や自動車取得税交付金(2,524万円減)など、各種交付金が減額したことなどによる財源不足を補うため、市債(5億4,300万円増)が増加しました。



市民1人当たりの市税の負担額
152,526円

1世帯当たりの市税の負担額
415,467円

税収総額：217億7,628万円
※税収総額には、会社や事業所が納めた税金も含まれます(国民健康保険税を除く)。

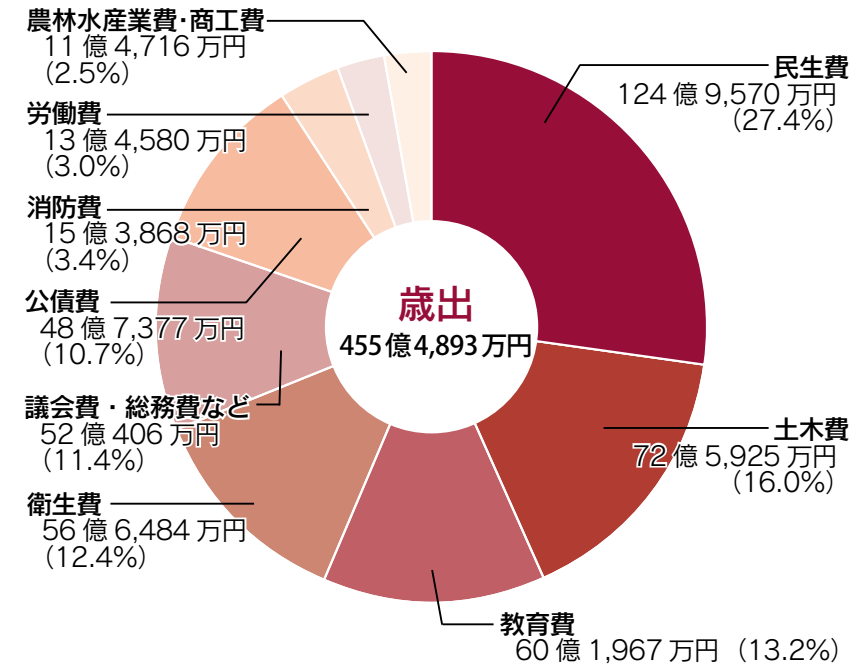
- *1…市に納められる税金
- *2…貸付金の元利収入など
- *3…前年度から繰り越されたお金
- *4…公共施設の使用料や手数料、財産収入、繰入金など
- *5…市が行う特定の事業に対して国が支出するお金
- *6…国や銀行からの借入れ
- *7…市の財政状況に応じて国から交付されるお金
- *8…市が行う特定の事業に対して県が支出するお金
- *9…地方譲与税や地方特例交付金、自動車取得税交付金など

歳出

455億4,893万円 対前年度比3億1,335万円の増(0.7%)

小・中学校耐震化事業に伴う教育費(12億5,093万円増)や、子ども手当や生活保護費などの増大により民生費(6億8,153万円増)が大幅に増加しました。

一方、土木費(1億8,706万円減)と総務費(13億9,328万円減)および農林水産業費(3億1,364万円減)は減少しました。



市民1人当たりへ支出したお金
319,034円

【内訳】

項目	内容	金額
民生費	子どもや高齢者の福祉など	87,523円
土木費	道路や河川、公園の整備など	50,845円
教育費	学校教育の充実や文化・スポーツの振興など	42,163円
衛生費	保健や環境衛生、ごみ処理など	39,678円
議会費・総務費など	議会や市役所の管理運営、戸籍管理など	36,450円
公債費	借入金の返済	34,137円
消費費	消防活動や防災など	10,777円
労働費	労働者の福利厚生などに	9,426円
農林水産業費・商工費	農業や水産業、商工業の振興など	8,035円

収支

実質収支 17億6,296万円

- 形式収支は、歳入から歳出を差し引いた額です(474億442万円-455億4,893万円=18億5,549万円)。
- 実質収支は、形式収支から繰越財源(翌年度へ繰り越す事業の財源)を差し引いた金額で赤字額となります(18億5,549万円-9,253万円=17億6,296万円)。

11月の市税の納付

納期内納付にご協力ください。納期内であれば、コンビニからも納付できます。

納期限 11月5日(月)

市税の納付は口座振替が便利です

市から委託された㈱アイウィジットの社員が、口座振替の依頼書を各家庭の郵便受けに投函する「口座振替加入促進キャンペーン」を実施しています。ご協力をお願いします。

問合せ 納税促進課 ☎626-2147

重度心身障害者(児)医療費助成金受給者証の更新

今年1日から重度心身障害者(児)医療費助成金受給者証が新しくなりました。まだ更新の手続きをしていない人は、10月受診以降の医療費助成が遅れますので、お早めに手続きしてください。

対象者 身体障害者手帳1・2級や内部障害者3級、療育手帳A、特別児童扶養手当1級に該当する人

問合せ 地域福祉課 ☎626-1127

静岡県の最低賃金が改正

県内の事業場で働くパートやアルバイトなどを含む全ての人に適用されます。

改正日 10月12日(金)

改正額(時間額) 735円(改正前金額728円)

問合せ 静岡労働局労働基準部賃金室 ☎254-6315

焼津生活ガイドブックを配布

市と民間企業が共同で製作した「焼津生活ガイドブック」には、四季のイベントや地域の見どころ、行政情報などを掲載しました。

配布場所 市役所の各庁舎や各公民館、焼津・大井川図書館、焼津・大井川文化会館、焼津市観光協会など(各世帯への配布や郵送による配布は行いません)

問合せ 広報広聴課 ☎626-2145